

EENOUR イーノウ



電動アシスト折りたたみ自転車S1 取扱説明書

はじめに

このたびは、電動アシスト自転車S1をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読して理解してからで使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品の仕様変更などで予告なく変更される場合がございます。ご注意ください。

目次

安全にお使いいただくために	01~13
・バッテリーに係る安全事項	01
・充電器に係る安全事項	02
・充電に係る安全事項	02
・自転車に乗る前に	03
・安全上のご注意	04~08
・使用上のお願い	09~10
・電動アシストについて	11
・走行について	12~13
・メンテナンスについて	13
・他の注意事項について	13
各部の名称	15
梱包部品一覧	16
展開について	17~20
・ハンドルの取付け	18
・ハンドルの角度調整	19
・ペダルの出し方	19
・フェンダーの確認	20
折りたたみ方	21~22
LCDパネル操作方法	23~24
充電方法	25
バッテリーの取出しと取付方法	26
バッテリーについて	27
バッテリー交換の目安	27
バッテリーの廃棄について	27
ボトルケージ(別売り)の付け方法	28
リアキャリア(別売り)とリアキャリアライト(別売り)の付け方法	28
防犯登録の流れ	29
よくあるトラブル	30
保証内容について	31~32
スペック	33
販売証明書	34
保証書	35

●製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。

●この取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。



●本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
下記を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

バッテリーに係る安全事項

⚠ 警告



 禁止	<ul style="list-style-type: none">・必ず専用充電器で充電し、自動車等の充電器を使用しないでください。・バッテリーの充電中は、バッテリーを毛布等で覆わないでください。・バッテリーを本製品以外に使用したり、分解・改造をしないでください。・バッテリーを湿度の高い場所に放置しないでください。短絡する恐れがあります。・バッテリーを高所から落とす等、外部から強い衝撃を与えないでください。・バッテリーを火の中に投入したり、過熱状況下で使用、保管、充電しないでください。・周囲温度が 10℃未満、或いは周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを使用、保管、充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。・内蔵バッテリーが液漏れした場合は素手で触らないでください。 <p>万が一目に入った場合は目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗って医師にご相談ください。 身体や肌などに付いた際は、きれいな水で洗って、かゆみなどがある場合は医師にご相談ください。</p>
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。・リチウムイオンバッテリーを廃棄する際は、必ずお住まいの地域の回収方法に従って廃棄してください。・ペットや子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・傷や、外傷がある場合は使用しないでください。・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・バッテリーは消耗品です。使用環境によって容量が低下する場合があります。満充電にしても走行距離が著しく短くなった場合は、バッテリーの交換が必要になります。・低温状況下では、リチウムイオンバッテリーの消耗が速くなり、走行距離が短くなる可能性があります。・リチウムイオンバッテリーを長期間ご使用にならない時は、満充電の状態にし直射日光が当たらない涼しい場所に保管してください。 <p>ご使用にならない場合でも 1 ヶ月に一度は充電をしてください。</p>



充電器に係する安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・分解、改造は絶対にしないでください。・充電器の上に物を載せたり、挟んで固定しないでください。・充電器及びコードを踏んだり、落下させたり、衝撃を与えないでください。・充電器が破損した状態で使用しないでください。電源コードが破損するようなことをしないでください。(傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど。)傷んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電器の充電プラグや電源プラグは根元までしっかりと挿込んでください。・充電器を持ち運ぶ時、あるいは郵送する時は、衝撃で損傷しないように緩衝材に包んでください。・充電器の端子や電源プラグにほこりがたまらないよう定期的に乾いた布で拭いてください。・充電器をご使用の際は、乾燥した清潔な場所でお使いください。液体や金属くずが充電器内部に入らないようにしてください。

充電に係する安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・家庭用100V-240V交流電源以外での使用はしないでください。・充電の際は、本製品付属の充電器をご使用ください。その他の充電器をご使用になった場合、バッテリーが損傷することがあります。・濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の恐れがあります。・充電する時は、乳幼児やペットがいる場所で行わないでください。・屋外や高温な場所で充電しないでください。・充電する時は引火物の近くで充電しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電する時は本体の電源スイッチを切ってください。充電器の充電プラグをバッテリーに接続し、電源プラグをコンセントに挿し込んでください。・充電完了後はコンセントから電源プラグを抜いてから本体の充電プラグを抜いてください。・充電中に異音・異臭・煙が発生した場合はただちに充電を中止してください。・充電後は必ず保護キャップをしっかりとはめてください。・バッテリー内蔵シートポストを本体から取外して充電する際は、必ず寝かせて充電してください。

自転車に乗る前に

警告



禁止

- ・本製品は、日常生活用としてデザインされた自転車です。業務用として使用しないでください。
- ・本製品にチャイルドシートを取付けないでください。
- ・ハブステップなどの突起物を装着しないでください。
- ・パンクした状態や空気圧の少ない状態で走行しないでください。
- ・滑りやすい靴やかかとの高い靴、厚底靴を履いて乗らないでください。
- ・注油禁止場所（リムやブレーキ部分など）に注油しないでください。ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒による怪我の恐れがあります。
- ・ハンドルやサドルの高さ調整をする場合は、限度線を超えた調整はしないでください。破損したり脱落したりして、怪我をする恐れがあります。
- ・純正部品以外のアクセサリーを使用しないでください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。



指示

- ・走行前にバッテリー残量、ブレーキ、ガタつき、タイヤの空気量を確認してください。
- ・サドルは足のつく高さに調整してお乗りください。
- ・サドルを調整した後はシートピンをしっかりと締めつけ、固定されていることを確認してください。
- ・ブレーキの効きが悪い場合は、付属の工具を使って調整するかサイクルショップに依頼してください。
- ・チェーンを確認し、たるんでいる時はサイクルショップにて調整を依頼してください。
- ・ハンドルを操作する際に、動きにくかったり引っかかることがないかご確認ください。
- ・ライトに汚れや破損、タイヤのスポークが折れたり、外れたり、変形していないことをご確認ください。
- ・タイヤがガタついていないか、正常に回転しているかをご確認ください。
- ・バッテリーケーブルが確実に接続されているか確認してください。走行中に落ちたりすると、怪我や事故につながる恐れがあります。
- ・各部にガタつきや緩み・変形・ひび割れなどがいないか確認してください。異常がある場合は乗らないでください。
- ・タイヤは接地面（トレッド）の溝がなくなる前にタイヤ交換をしてください。
- ・リヤキャリアに荷物を固定する場合は、ひもやベルトが車輪に巻き込まれないようしっかりと固定してください。

注意



指示

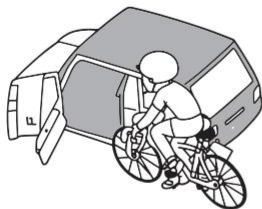
- ・怪我をせず、他の人に迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守ってください。
- ・安全のため、ヘルメットを着用してください。
- ・万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。（加入義務化の地域もありますので、ご使用先の自治体にご確認ください）
- ・乗る前に必ず自転車を点検してください。
- ・自転車を自分の体に合うように調整してください。
- ・動きやすい安全な服装で乗ってください。
- ・大切な自転車を守るため防犯登録をおすすめします。

警告

交通事故を防ぐために

車の横を走るときは！

■開くドアや人の飛び出しに注意する※



学校や公園が近くにあるときは！

■子供の飛び出しに注意する※



交差点を通るときは！

■左折車に巻き込まれないように注意する※

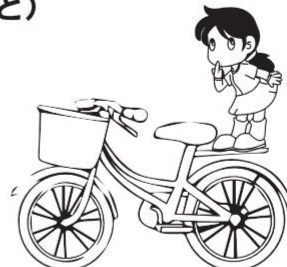


※事故による重大なけがのおそれ

禁止

転倒事故を防ぐために

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)



(転倒によるけがのおそれ)

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



(車輪に巻き込まれ、車輪の異常ロックや転倒によるけがのおそれ)

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない



(カーブでつま先がフロント車輪に当たり転倒によるけがのおそれ)

⚠ 禁止

転倒事故を防ぐために

- 傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



(車輪に巻き込まれ、車輪の異常ロックやほかの人や物にぶつかり事故や転倒によるけがのおそれ)

- 停車中はペダルに足を乗せない



(不用意なアシスト力が働き、転倒や接触事故によるけがの恐れがあります。)

- 手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない



(荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれ)

- 滑りやすい所では乗らない(積雪や凍結した道・ぬれた路面・石板(大理石など)・マンホールや側溝のフタ・路面上の表示(白線など)・タイル張りや点字ブロック・路肩の砂や砂利・ぬかるみなど)



(スリップして、転倒によるけがのおそれ)
⇒降りて、押して歩いてください。

- 滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



(ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれ)

- カーブで曲がる側のペダルを下げない



(ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれ)

⚠ 禁止

転倒事故を防ぐために

■凹凸の激しい所を走らない(歩道の段差や、溝など)



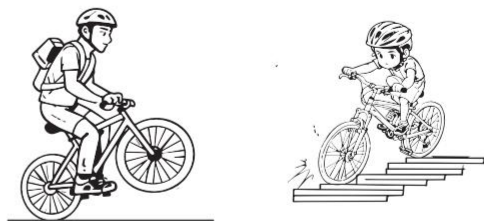
(フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれ)
⇒降りて、押して歩いてください。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない



(バランスを崩し、転倒によるけがのおそれ)

■アクロバット的な乗りかたはしない



※(転倒や落車によるけがのおそれ)

■雨・風・雪のひどいときは乗らない



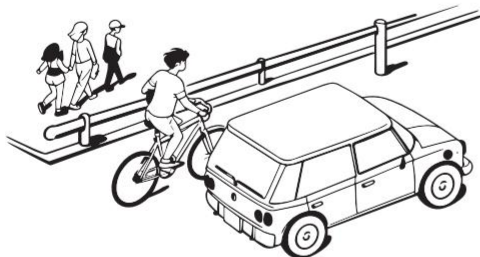
(バランスを崩したり、スリップすることで転倒によるけがのおそれ)
⇒雨の降り始めでも、路面の一部がぬれ、滑りやすくなります。乾いた路面からぬれた路面に入るときはスリップによる転倒に注意してください。

⚠️ 自転車の交通安全ルールについて

■違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

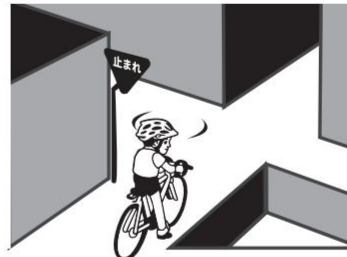
自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



次の様な場合は、歩道通行ができます

(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

●自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合。
●運転者が児童、幼児などの場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



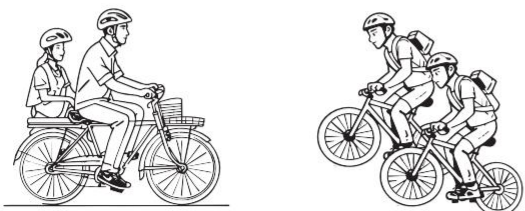
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。



二人乗り、並進は禁止

●6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
●「並進可」標識のある場合以外は並進は禁止です。



次の様な運転はやめましょう

●飲酒運転
●携帯電話を操作しながらの運転
●傘さし運転
●ヘッドフォンを使用しながらの運転



⚠ 自転車の交通安全ルールについて

■ 乗るまえに

まず体に合わせてください

- 円滑なペダリングができる。
- ブレーキや変速機が確実に操作できる。
- ハンドル操作が容易にできる。



乗る練習は必ず行ってください

- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
- よく練習してから一般道路でお乗りください。



まず点検をしてください

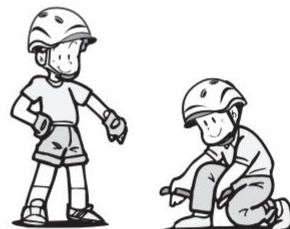
- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

- ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
- 児童(13歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



乗ったあとは

決められた場所に駐輪してください

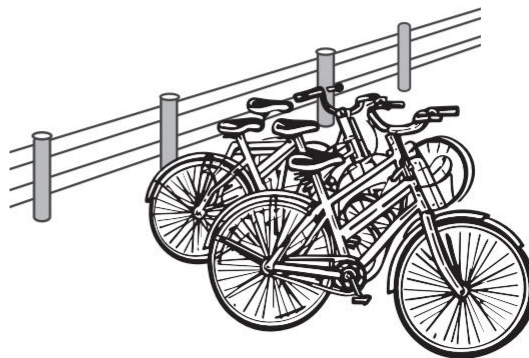
- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所に止めましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。

駐輪場



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



使用上のお願い

必ずお守りください

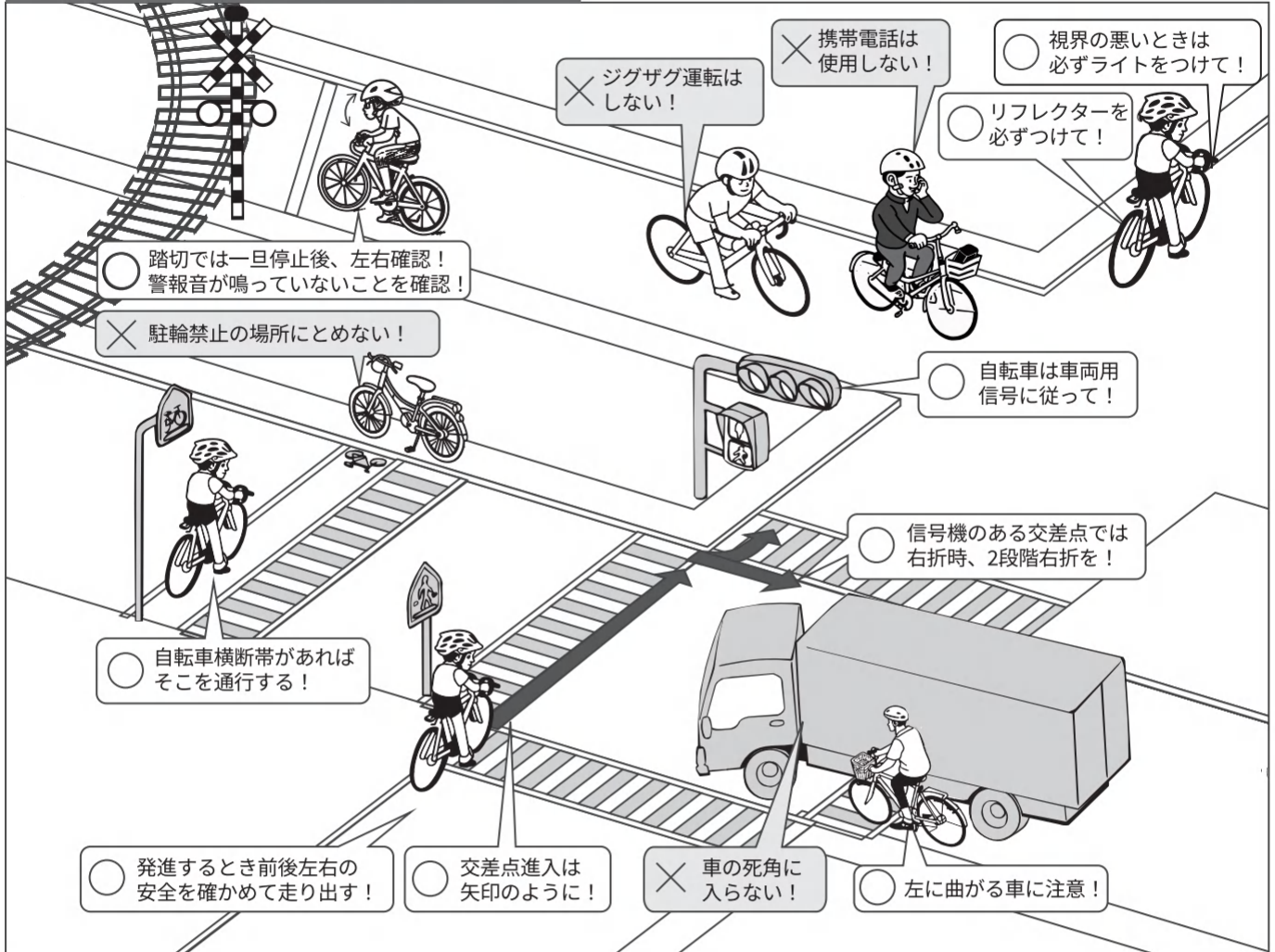
ご使用のまえに

けがをせずに、ほかの人にも迷惑をかけないために、乗りかた・交通ルール・道路標識を守りましょう。

●安全のため、自転車用ヘルメットを着用してください。

●万一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。(加入義務化の地域もありますので、ご使用先の自治体にご確認ください)

自転車で道を走るときのルール・マナー



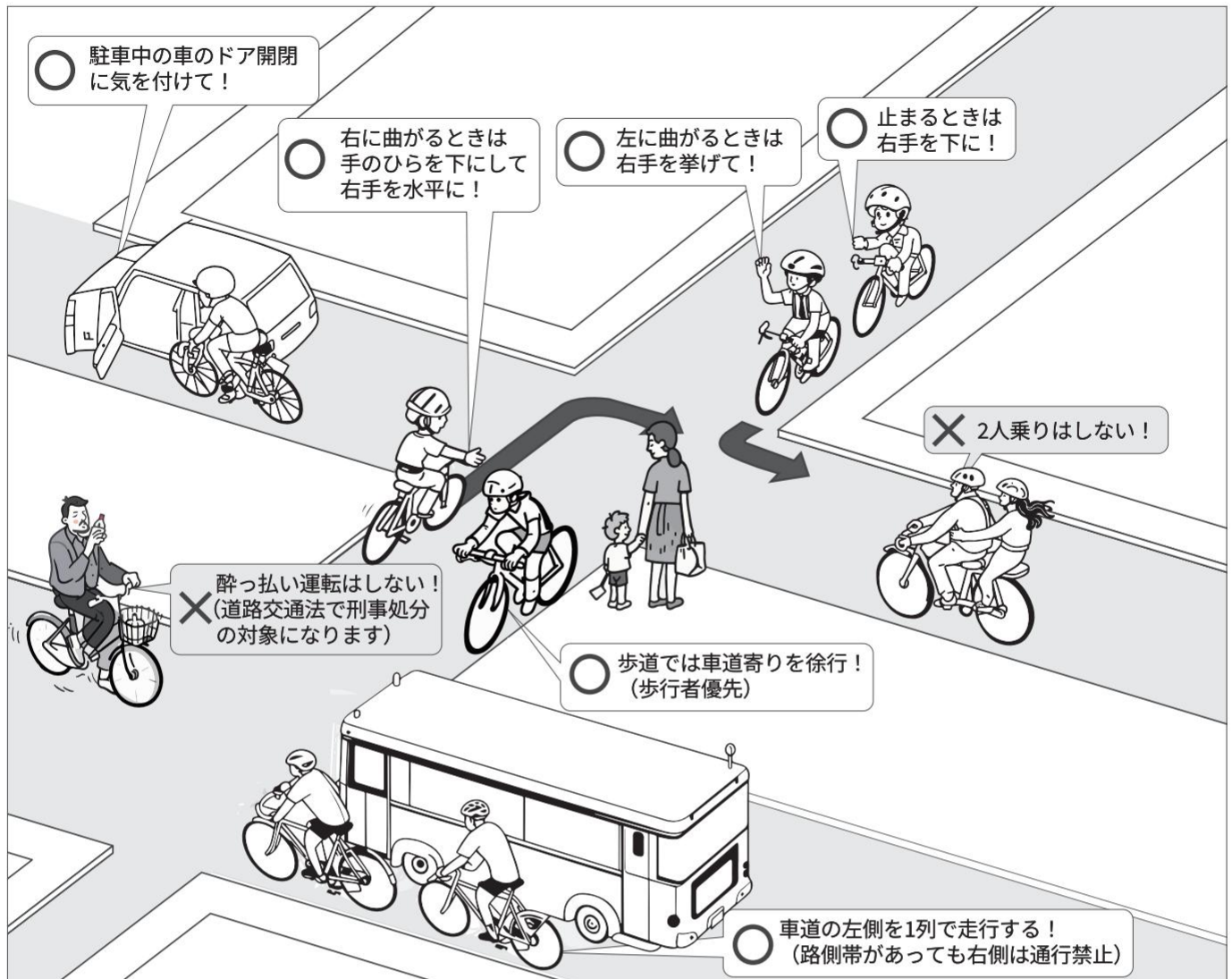
自転車運転者講習の対象となる危険行為

- 信号無視
- 指定場所一時不停止等
- 酒酔い運転
- 歩道通行時の通行方法違反
- 遮断踏切立入り
- 制動装置(ブレーキ)不良自転車運転
- 通行禁止違反
- 交差点安全進行義務違反等
- 通行区分違反
- 歩行者用道路における車両の義務違反(徐行違反)
- 交差点優先車妨害等
- 安全運転義務違反
- 環状交差点安全進行義務違反等
- 路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 妨害運転(交通の危険のおそれ)

自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. ヘルメットを着用

自転車で道を走るときのルール・マナー



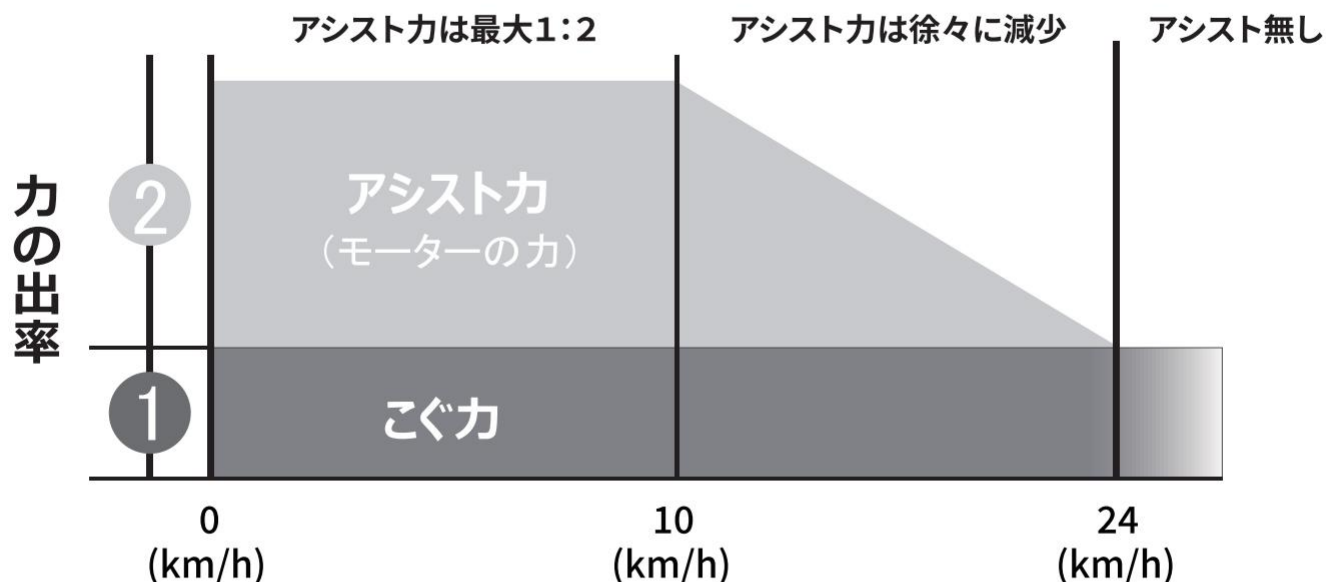
電動アシスト自転車・一般自転車は、道路交通法上「軽車両」となります。違反をすると、道路交通法の罰則を受けることがあります。違反行為を2回以上摘発されると、自転車運転者講習を受講する必要があります。受講命令に従わなかった場合、罰金が科せられます。

*自転車運転者講習制度の詳細については、警察庁ホームページ (<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/info.html>) を参照ください。

電動アシストについて

モーターの力（アシスト力）で、ラクラク走行

ペダルを一定以上の力で踏むと、モーターが働くので、普通の自転車よりも軽く踏むだけで走行することができます。



- ①アシスト力が働くスピードの範囲はアシストモードや変速位置により異なります。
- ②楽になる度合いはペダルを踏む力や人、道路状態、天候、積載等の条件により異なります。
- ③以下の状況ではアシスト力が働きません。
 - ・電池残量がなくなっている
 - ・電源スイッチが切れている
 - ・ペダルを漕いでいない
 - ・24km以上の速度で走行している
 - ・走行できない故障や異常が発生している
 - ・走行中にアシストを OFF にした
- ④アシスト力がない状態でも、普通の自転車としての走行は可能です。

走行について

警告



禁止



- 小さなお子様、妊娠の方、飲酒、かぜ薬を服用した時など、自転車の走行に不適切な状況でのご使用はお止めください。
- 二人乗り、並走、イヤホンを付けての走行、スマホを見ながらの走行はお止めください。
- 段階や歩道の段差や溝など、凹凸の激しい場所を走らないでください。
- ギヤの変速はペダルを踏みながら行わないでください。
- 走行時ワイヤー錠を車輪の近くやハンドルにぶらさげないでください。
- カーブ走行時はペダルを下げた状態で曲がらないでください。
- 大雨やモーターが水に浸かるような水深の深い場所は走行しないでください。
- スタンドを下ろした状態で走行しないでください。
- 手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしないでください。
- 傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げて乗らないでください。
- 車輪やチェーンなどの回転部に手や足を近づけないでください。
- 長いスカートやマフラーなど、巻き込みやすいものを車輪やギヤに近づけて乗らないでください。
- ハンドルから手を離したり片手で運転しないでください。バランスを崩し、転倒によるけがの恐れがあります。
- 滑りやすいところで走行しないでください。
- 急ハンドルはしないでください。
- 自転車が完全に止まるまでは降りないでください。



指示


- 安全のため、ヘルメットを着用してください。
- また車輪に巻き込まれる可能性のある服装や、滑りやすい靴、かかとの高い靴などは避けてください。
- アシストスイッチを入れたまま駐輪、自転車の押し歩きをしないようご注意ください。
- 乗車前には各部の点検を必ず行ってください。
- バッテリーが確実に固定されている事を確認のうえご乗車ください。
- 自転車を乗り入れても良い公園や広場など安全な場所でよく練習し、アシストの特徴に充分慣れてから一般道路でお乗りください。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・「蹴り乗り（けんけん乗り）」は絶対にしないでください。必ずサドルにまたがりハンドルをしっかり握ってから発進してください。・発進時はペダルを強く踏み込みすぎないようにご注意ください。（思わぬ急発進によりバランスを崩すと危険です。）・停車中は前後ブレーキをかけたままにし、ペダルに足を乗せないでください。・前ブレーキだけを強くかけないようにご注意ください。（車輪がロックし自転車が前方に倒れる恐れがあります。）・急ブレーキ、急ハンドルはしないでください。雨天時や下り坂ではスピードをださないでください。・深さ 15cm を超えた水には入らないでください。・走行直後はアシストユニットに手を触れないでください。（走行直後はアシスト部が高温になっていることがあります。）・水に濡れた手でバッテリーや充電器には触れないでください。・ハブステップを取り付けての乗車は大変危険です。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・定期的に消耗部品（ブレーキ等）を交換してください。・高齢者のかたの事故が増えています。 商品のアシスト特性、重量等を十分に把握したうえでご使用ください。


メンテナンスについて

注意

 指示	<ul style="list-style-type: none">・自転車を高温多湿な環境に保管しないでください。・自転車は直射日光と雨の当たらない場所で保管してください。・各部の固定がしっかりしている事を確認してからお乗りください。・ねじ、チェーン及び他の部品を定期的に確認してください。・ハンドルやシートポストの限界線にご注意ください。限界線を超えた状態での乗車は大変危険です。・定期的にタイヤに空気を入れてください。（空気圧が減った状態で走行すると、タイヤ、チューブの劣化、バッテリー消耗の原因となります。）・バッテリーや充電器を他の電気機器には使用しないでください。・いつまでも安全にお乗りいただくため、お買い求めいただいてから 6 ヶ月目以降は、半年ごとに定期点検をお受けください。（定期点検は有料となります。）
---	---

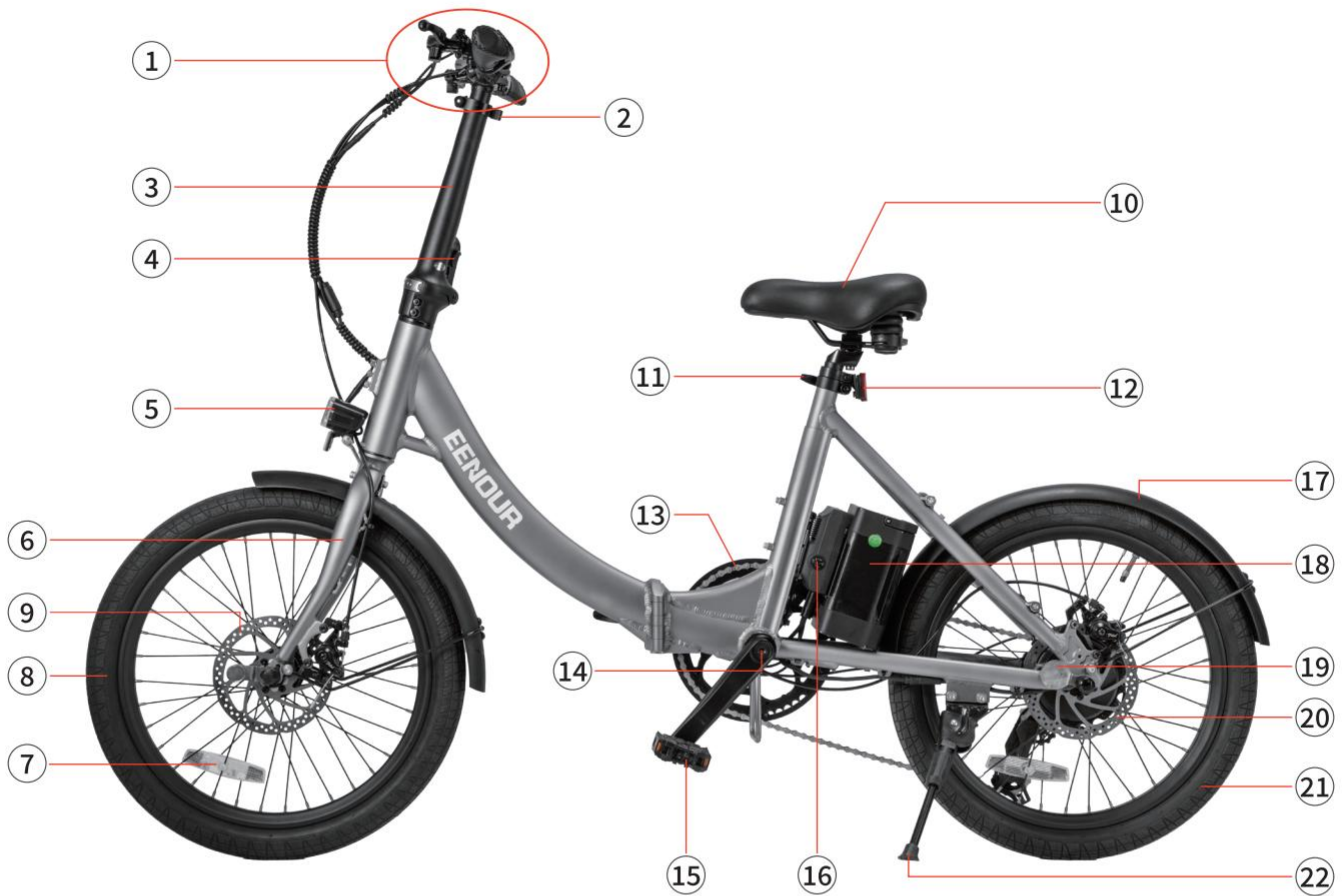
他の注意事項について

注意

 指示	<ul style="list-style-type: none">・お子様はお使いにならないでください。本製品は大人用自転車となります。・本書と保証書は紛失しないよう大切に保管し、ご活用ください。・他人にお譲りになる場合は、本書と保証書も一緒にお渡しください。
---	---

各部の名称

パーツの名称



①ハンドル	⑨前ブレーキ	⑬チェーンホイール
②ハンドルポストピン	⑩サドル	⑭トルクセンサー
③折畳ハンドルポスト	⑪シートピン	⑮折畳ペダル
④ハンドルポスト固定レバー	⑫リフレクター	⑯バッテリーロック
⑤ヘッドライト	⑬チェーンホイール	⑰泥よけ
⑥前ホーク	⑭トルクセンサー	⑱バッテリー
⑦ホイールリフレクター	⑮折畳ペダル	⑲マグネット
⑧前タイヤ		⑳後ろブレーキ
		㉑後ろタイヤ
		㉒スタンド

ハンドル部の名称



②③ハンドル用リフレクター	②⑥グリップ	②⑨前輪ブレーキレバー
②④後輪ブレーキレバー	②⑦液晶マルチファンクションメーター	③⑩シフトレバー【6→1】
②⑤ベル	②⑧外装6段変速インジケーター	③①シフトレバー【1→6】

後ろタイヤまわりの名称



③②泥よけ	③⑥ディスクブレーキキャリパー	④⑩ボトルケージ固定ボルト
③③モーター	③⑦ホイールリフレクター	④①フレーム固定レバーロック
③④ギア	③⑧バッテリースイッチ	④②フレーム固定レバー
③⑤ギアガード	③⑨ほこり防止キャップ	④③チェーン

梱包部品一覧

自転車本体のほかに、下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。



充電アダプター



基本工具セット



バッテリーロック鍵



販売証明書(奥付)



保証書(奥付)



取扱説明書



メンテナンスマニュアル

展開について

⚠ 注意

- 作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- 開封の際は広いスペースを確保してから行ってください。
- 各部のパーツが確実に装着されていることを確認してください。装着とロックが不十分だと、怪我や事故につながる恐れがあります。
- 組立てが完了したら、接続部分がしっかりとロックされていることを確認してください。
- ハンドルポストを起こす際に手を挟まないように注意してください。
- ペダルを押し込む際に車体が倒れないよう注意してください。

1 本体を少し開きスタンドを立てます。



2 更に開きフレームを一直線にします。



3 フレーム固定レバーを押すとロックがかかります。



⚠ 注意：指を挟まないよう十分ご注意ください。

ハンドルの取付

- 1 ハンドルポストピンを開きます。



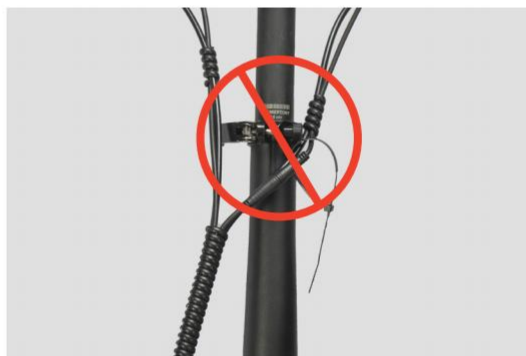
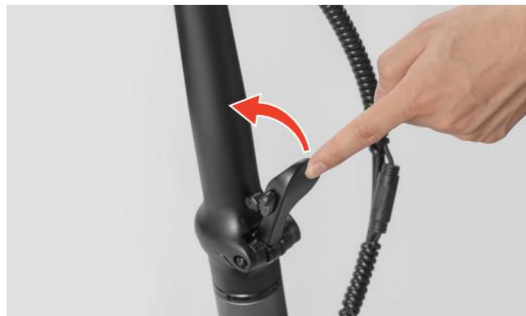
- 2 ハンドルポストをフレームに差し込みます。



- 3 ハンドル固定レバーを押しながら、ハンドルを起こします。



- 4 ハンドル固定レバーを閉めます。



⚠ 注意 ハンドルポストの高さは安全ラインを超えないでください。

ハンドルの角度調整

出荷時は、体積を削減するためにハンドルバーの固定角度を変えているので、調整が必要です。

出荷時



ブレーキレバー角度が、地面に垂直になっているため、この状態では乗車出来ません。

調整後



ブレーキレバー角度が、地面に対し水平よりやや下向きに来る状態が最適です。

調整方法

ハンドルバー固定クランプを解除して、ハンドルバーの角度を変更して、再度クランプを閉じて固定してください。



ペダルの出し方

⚠ 注意 指を挟まないよう十分に注意ください。

- 1 ゆっくりペダルを展開します。



フェンダーの確認

- 1 前後フェンダーの位置は写真を参考してください。配送途中でフェンダーがズレた場合、適切な位置まで調整して下さい。



注意

スクラッチを防止するため、前後フェンダーには保護用のフィルムが貼っています。ご自由に剥がしても構いません。
フィルムを剥がした後、フェンダーはマットブラック色になります。

折りたたみ方

- 1** シートポストをしっかりと握り、シートピンのレバーを緩めます。



注意 シートピンのレバーを緩めると、突然サドル注意が下がる場合がありますのでご注意ください。

- 2** ゆっくりとシートポストを一番先端に差し込んでから、シートピンのレバーを固定します。



- 3** ペダルを押し込みながら折りたたみます。

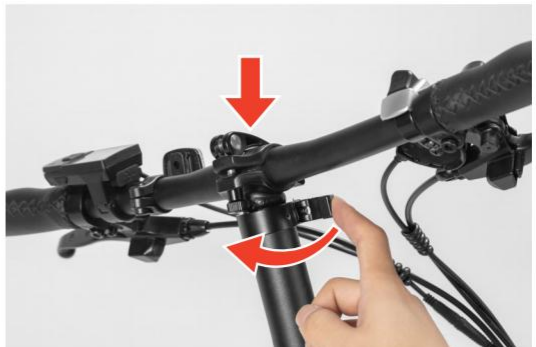


注意 指を挟まないよう十分ご注意ください。

- 4** ハンドルポストピンを開きます。



- 5** ハンドルポストを一番下に差し込んだら、ハンドルポストピンを固定します。



- 6** ハンドルバー固定レバーを引き上げ、ハンドルバーの角度を垂直に変更したら、レバーを固定してください。



- 7** ハンドル固定レバーのロックを解除し、レバーを開きます。



- 8** ゆっくりとハンドルポストを折りたたみます。



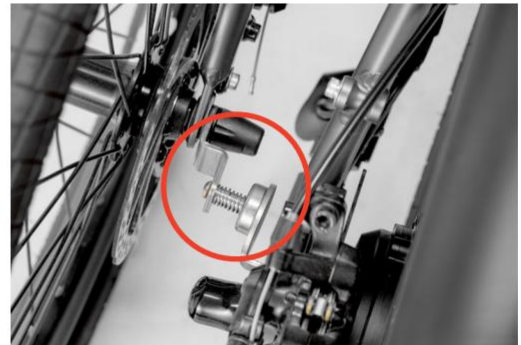
- 9** フレーム固定レバーのロックを解除し、フレーム固定レバーを開きます。



- 10** 自転車のフレームを内側に向けて折りたたみます。



- 11** 自転車の持ち運び、折りたたみ時に車体が開かないようにマグネットで固定します。



LCDパネル操作方法



⚠ 注意

- アシストレベルが上がるとバッテリーの減りが早くなります。
- 道路状況や積載重量、ライトを点灯させた夜間での走行などによって走行距離は変わります。
- 自転車での走行時のアシストレベルは低速から高速へ調整し、適切なレベルを選んでください。
- 本体内蔵の高速モーターの構造上、低速で走行時にモーターからブーンという音がすることがあります。

	① 電源スイッチ (4秒押すと、電源が起動します。)
	② ▲スイッチ (アシストする力が強くなります)
	② ▼スイッチ (アシストする力が弱くなります)
	④ Mキーを押してメーターの表示情報を切り替えます。 TRIP: 区間距離の表示 ODO: 積算距離の表示
	⑤ 速度表示
	⑥ バッテリー残量表示
	⑦ エラー表示
	⑧ ライトの点灯 ▲ボタンを3秒間長押し ライト点灯 ▲ボタンを3秒間長押し ライト消灯
	⑨ 1~5段階の電動アシストモードがあります。 電源オンの状態で、上ボタンをを押すたびに、電動アシストレベルOFF→1→2→3→4→5と低速から高速に切替わります。 下ボタンを押すたびに電動アシストレベルを1段ずつ下げます。

ライトの点灯方法

電源オンの状態で、上ボタンを長押ししてヘッドライトを点灯します。
再度の上ボタンを長押し、ライトが消灯します。



⚠ 注意

- ライトはバッテリーから電気が供給されています。夜間走行の際は、まず自転車のバッテリー残量が十分あることをご確認ください。
- 残量が少ない場合は、アシストレベルを下げてください。
- 夜間の無灯火は交通ルール違反になります。
- 下ボタンを長押ししても設定の変化はありません。

ギアチェンジ

バッテリー残量がゼロになっても普通の自転車として走行することができます。

- 1 自転車での走行時にシフトレバーを使用して、6段階のギアチェンジが可能です。
- 2 シフトレバーAを押すと「6-1」(ペダリングが軽くなる)の順にギアの調節ができます。
シフトレバーBを手前に引くと「1-6」(ペダリングが重くなる)の順にギアの調整ができます。



⚠ 注意

- 変速操作は、よく練習してください。
- シフトレバーを無理に操作し変速しないでください。(変速機を傷める原因になります。)
- 変速時は、ペダル軽く踏みながら変速してください。(スムーズに変速できます。)

USBポート

ほこり防止キャップを開けて、スマホなどを充電可能です。



⚠ 注意

使用しない時はほこり防止キャップを閉めてください。しっかり閉めないと、湿気でメーターが故障することがございます。

ブレーキのかけ方

ブレーキをご使用になる時は、まず左手の後輪ブレーキレバーをかけてから、右手の前輪ブレーキレバーをかけます。

後輪ブレーキレバー

前輪ブレーキレバー



充電方法

1 充電する前に電池の電源を切ってください。

バッテリースイッチは側面にあります。



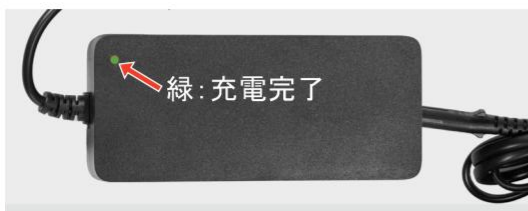
2 充電口は電池の側面にある。

※ゴムカバーで覆われています。
ゴムカバーを開けて、充電器の「充電コード」を充電口に差し込みます。
充電完了後は、充電口にゴムカバーを被せてください。

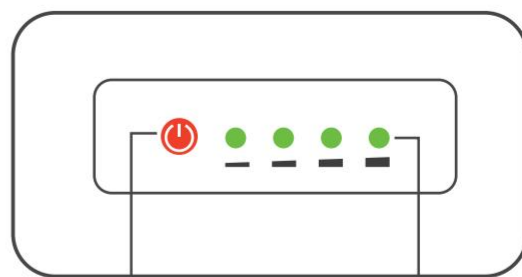


3 充電中はインジゲーターが赤色で表示されます。

インジゲーターが緑色になれば基本的な充電は完了となりますが、緑色に変わった後も満充電にするためにしばらく充電が続きます。
(過充電を防ぐために、満充電になると充電は停止します。)



4 バッテリー残量



ローバッテリー:
この表示灯はバッテリー残量が少ない場合のみ点灯します。

フル充電:
バッテリーが満充電した場合点灯します。

充電の注意事項

極度に暑い、また寒い場所では充電できない恐れがあります。

①温度は20°C~25°Cの室内が望ましい
充電待ちになったバッテリーが充電できる温度に下がるまで、室内の温度が高いほど時間を要することがあります。

正常に充電を開始しても、充電途中でバッテリー内部が規定の温度を超えたとき、バッテリー保護のため充電に時間がかかることがあります。

- ②直射日光の当たらないところ
- ③平坦で安定なところ
- ④雨や水に濡れないところ
- ⑤風通しがよい、湿気がないところ
- ⑥幼児やペットが触らないところ

バッテリーの取出しと取付方法

バッテリーの取り外し方

- 1 電源ボタンを長押しして、電源を切ります。



- 2 バッテリースイッチをOFFにします。



- 3 付属のバッテリーロック鍵で、バッテリーロックを解除します。



- 4 バッテリーを取り外します。



バッテリーの取付方法

- 1 バッテリーを取り外します。



- 2 付属のバッテリーロック鍵で、バッテリーロックを解除します。



バッテリーについて

⚠ 注意



指示

1回の充電でアシスト走行できる距離は道路の状態、走り方、気温、荷物の有無などの走行状況に左右されます。

低温状態では走行距離が大幅に減少します。

発進、停止の回数が多い。急な坂道が多い。路面状況が悪い。積載重量が重い。向かい風が強い。バッテリーが劣化している。これらの状況はバッテリーの走行距離に影響しております。

気温が5℃以下になるような室外に電動自転車を駐輪する場合、バッテリーは取り外して室内で保管してください。

走行直後、バッテリーの温度が上がりますので、モーター、バッテリー、アシストユニットなどに手を触れないでください。

走行直後、バッテリーが高温な状態で充電すると、高温保護が機能し、途中で充電が停止することがございます。

冬でも夏でも、常温(20℃～25℃)の環境で充電・保管されることをお勧めします。

走行中に異音が発生したり異常だと思ったら、ただちに使用を中止してください。

必ず平らな場所に駐輪してください。

⚠ 注意 バッテリーには寿命があります。

バッテリー交換の目安

バッテリー交換は有料です。	バッテリーの交換時期の目安は、使用状況充電のしかたなどにより異なりますが満充電後の走行距離が新品時より、著しく短く(約半部以下)なった時が交換時期です。バッテリーを交換する際は、お買上げ販売店にご連絡ください。
バッテリー交換時期の目安	A) 冬季はバッテリーの特性上、走行できる距離が短くなります。また、ペダルを強く踏み込んだ状態で走行する機会が多かったり、高温になる駐輪場でバッテリーを保管すると通常より少ない充電回数や短い期間でバッテリーが消耗し、寿命となる場合があります。 B) バッテリーの劣化を抑えるため、最低2カ月に一度は充電を行ってください。 C) バッテリー残量がない状態での長期保管は、早期劣化の原因となります。 D) バッテリー残量表示ボタンを押した時にLCDランプが点灯しない場合は充電をしてください。再充電ができない場合はバッテリーが劣化し寿命となる可能性があります。 E) 長期間保管後に再使用する場合、予めバッテリー残量を確認し、不足している場合は必ず充電してからご使用ください。

バッテリーの廃棄について

バッテリーの廃棄方法	各地域のバッテリー回収方法が異なりますので、不要になったリチウムイオンバッテリーを廃棄する際は、必ずお住まいの地域の回収方法に従って廃棄してください。
-------------------	---

ボトルケージ(別売り)の取付方法

- 1** 付属の工具を利用し、ボトルケージの固定ボルトを緩めます。



- 2** ボトルケージの底部を固定ボルトの下に置いたら、固定ボルトをしっかりと締め付けます。



リアキャリア(別売り)とリアキャリアライト(別売り)の取付方法

- 1** 付属の工具を利用し、リアキャリアライト(別売り)のナットを取り外します。



- 2** ボルトをリアキャリア後部の穴に通過します。



- 3** 付属の工具を利用し、ナットを締め付けて、リアキャリアライトをしっかりと固定します。



- 4** 付属の工具を利用し、リアキャリアの固定ボルトを外します。



- 5** リアキャリアの穴とフレームの穴が一致したら、固定ボルトを取付けて、リアキャリアを固定します。



- 6** ボタンでリアキャリアライトを制御、2つの点灯モードに切り替わります。(常時点灯モード、SOSモード)



防犯登録について

車体番号の確認方法

車体番号は防犯登録に使用する番号です。
車体番号は自転車ヘッドに打刻されています。



防犯登録の流れ

防犯登録に必要な書類などは下記の通りです。

防犯登録を受ける場合、事前に車体番号を販売証明書に記入し、下記の書類を防犯登録を行っているお店へ持参しご提示ください。

- 本体
- 保証書
- 公的証明書（運転免許証、保険証など）
- 登録料（都道府県によって異なる）

⚠ 注意

- 日本以外の国籍の方は外国人登録証明書
- 中古車の場合は前所有者の登録カードまたは譲渡証明書

よくあるトラブル

症状	点検と確認	対処方法
電源が入らない	充電されていますか	バッテリーを充電してください。 (P25「充電方法」参照)
電源は入るが、モーターが働かない(液晶パネルは表示されてバッテリーの残量も十分であることが表示されている)	ブレーキをかけていませんか	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがしっかりと戻っている事を確認してください。
	アシスト OFF を選択していませんか?	アシストモーを 1-5 を選択してください。
	タイヤの空気圧が低下しています。	タイヤに空気を入れます。
	バッテリー電量が足りませんか?	充電器のランプが緑になるまで充電をします。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電できない	バッテリーと充電アダプターが正しくセットされていますか?	バッテリーから充電接続コネクタを、充電アダプターから電源コードをいったん抜いて、もう一度、各コネクタ/コードを接続し直してください。
	バッテリーが完全放電しています。	充電が開始してもすぐに満充電表示(緑色ランプ)が表示される場合は完全放電の可能性があります。ご購入された販売店までお問合せください。バッテリーを充電してください。
	アダプターが壊れています。	お買上げ販売店までお問い合わせください。
走行距離が短い	バッテリーを長期間使用せずに放置していませんか?	充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかった場合には自然に放電してしまうため、残量がなくなっている事があります。
	坂道の連続走行や悪路などの過酷な走行をしませんでしたか?	道路状況や変速位置、積載重量やペダルの踏み具合等の条件により走行距離は短くなります。
	気温は低くないですか?	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えているためバッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります。
	気温は高くないですか?	高温な場所に放置した場合は、バッテリーの残量が減少する事があります。
	使い込んだバッテリーを使用していませんか?	バッテリーの寿命と思われます。新しいバッテリーをご購入いただき、交換してください。
電源 OFF で走行中に電源 ON にした場合、電動アシストがかからない状態となります。	走行中の急加速を防ぐための安全プログラムが作動している。	解除方法は、自転車を停車してから、電源 ON の状態で再度漕ぐとアシストは作動します。

保証内容について

本規約は、株式会社ジャバンストライド(以下「弊社」とする)を經由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。

(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。

ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (12)使用することで消耗する部品または劣化する部品(パンクなど、一般自転車と変わらないパーツは、お近くの自転車屋さんで修理する事をお願いしています。)
- (13)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
以下に示すものを消耗部品とします。

ディスクブレーキ、ブレーキパッド、タイヤ、スポーク折れ、モーター水没、バッテリー水没、トルクセンサー水没、リアディレーラー(変速機)損傷、チェーンリング歪み、その他これに類する部品。

- (14)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)
 - ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがございます。
 - ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性がございます。
 - ・仕様変更などによりアッセンブリでの供給しかできない場合がございます。
 - ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 - ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
- また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

スペック

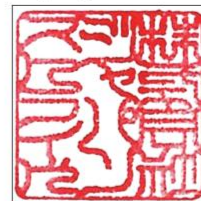
製品名称	20インチ電動アシスト自転車	
型番	S1	
サイズ	長さ1610x幅590x高さ1220 mm	
折り畳みサイズ	長さ840x幅470x高さ660 mm	
本体材質	アルミニウム	
重量	20.9 kg	
タイヤサイズ	20*2.0英式バルブ	
変速器	Shimano 外装6速	
走行システム	モード5段階	
ブレーキ	ディスクブレーキ	
補助範囲	比例補助	0~10km/h未満
	逡減補助	10~24km/h未満
モーター定格出力	350W	
バッテリー型式	リチウムイオンバッテリー	
バッテリー定格出力電圧	36V	
バッテリー容量	7.8Ah	
充電時間	3~4時間	

※ご注意：上記サイズは測る位置が異なるため、誤差が存在します。

※ご注意：お客様の満足度を向上するため、製品仕様の改良を行っております。取扱説明書の内容が即時に更新されない場合がございます。ご容赦くださいませ。

販売証明書

本書に記載した各事項に適合する折り畳み電動アシスト自転車S1は、当社(店)か下記の者に販売いたしました。



販売日 年 月 日

販売元	会社名	株式会社ジャパンストライド
	住所	奈良県生駒郡安堵町大字岡崎367番地10 LF奈良4階 N402

購入者	氏名 カタカナ	
	住所	
	電話番号	

[販売折り畳み電動アシスト自転車S1の仕様]

販売車両	製造メーカー	EENOUR
	車体番号	
	定格出力	350W
	カラー	
	タイヤサイズ	20インチ
	備考	

<お客様へ>

この度は、当社(店)の電動アシスト自転車をお買上頂き誠にありがとうございました。

本証明書は、当社(店)販売商品の電動アシスト自転車をご購入いただきましたことを証明する物です。防犯登録を受ける際にご提示ください。

※防犯登録を受ける場合、本紙の他に登録者の身分証明(免許証、学生証、保険証等)・車体番号・登録料が必要です。

EENOUR保証書

保証開始日	保証期間
年 月 日	お買い上げ日から1年間

お買い上げ日記入欄： 年 月 日

注文番号：

販売店/販売会社：

保証記録：

✉ support@eenour.com



Made in China

